

## 令和2年11月熊野市議会定例会市政報告

おはようございます。本日、令和2年11月熊野市議会定例会を招集させていただきましたところ、議員の皆さまには、お忙しいなか出席をいただき、ありがとうございます。

それでは定例会の開会にあたり、新型コロナウイルス感染症の現状と支援策の進捗状況等について、ご説明いたします。

新型コロナウイルスの市内の経済への影響について、市役所各課による聞き取り調査によりますと、令和2年10月末時点で、業績が大きく悪化または非常に大きく悪化と回答した割合は、全体の14%で、前回7月の調査時から比べて大きく減少しており、市内の経済活動は、いまだ厳しい状態が続いているものの、やや持ち直してきているといえます。また、10月の集客施設への影響は、修学旅行やG o t oキャンペーン等の効果により、入込客数や売上が大きく回復しており、道の駅熊野・花の窟や熊野・板屋九郎兵衛の里など前年同月の売上を上回った施設もございます。また、スポーツ集客についても、全日本ガールズソフトボール選手権大会、日本女子ソフトボールリーグ第2部などが開催され、9月から10月の延べ宿泊数は3,165泊となりました。Welcomeくまのキャンペーンの利用者は、10月末で1,433人、商品券配布額は377万9千円となっております。

しかし、直近の新型コロナウイルス感染症の情勢については、1月に入ってから、全国的に感染が拡大してきております。このことは市内の経済活動・市民生活に再度大きな影響を与える恐れがあるため、今定例会で生活者・事業者・ひとり親世帯への緊急的な支援を実施すべく、補正予算案を提出させていただいております。

これまでに議決された本市の緊急補正予算による支援策のうち、主なものの実績及び進捗状況ですが、市民1人当たり1万円分のレインボー商品券を支給した生活者・事業者支援商品券支給事業につきましては、1億6,558万円分の商品券を支給しましたが、事業者による換金実績は1億6,397万4千円で換金率は99.0%でございました。プレミア分40%のウルトラレインボー商品券の販売実績は延べ5,396世帯に対して商品券3億9,198万6千円分を販売し、11月24日現在の換金実績は2億6,296万2千円、換金率67.1%となっております。事業者向けの資金繰り支援のセーフティネット保証、危機関連保証認定件数は11月24日現在157件となっております。

今後についても、市民の皆様、事業者の皆様に3密回避、ソーシャルディスタンス、手洗い、マスクの着用など感染防止対策のお願いを行いながら、医療体制の維持や事業者支援をはじめとする市内の経済活動への支援を引き続き行っていきたいと考えております。

以上、新型コロナウイルス感染症の現状と支援策の進捗状況等についてご報告いたしました。

なお、今定例会におきましては、条例案など議案16件を提出いたしております。

よろしく、ご審議を賜りますようお願い申し上げ、開会にあたりましての市政報告といたします。